



膀胱炎ってなに?

どんな
病気?犬によく見られる病気のひとつで、
何らかの原因で膀胱に炎症が起きた病気。おもな
原因

犬の膀胱炎の原因は、おもに3つで、
細菌感染が多く、膀胱腫瘍が引き起こす
膀胱炎はまれなケースです。

細菌感染

細菌の多くが大腸菌で、皮膚の常在菌であるブドウ球菌が入ることも。免疫が低下しているシニア犬や糖尿病などの犬は、感染しやすい傾向が。

膀胱結石や結晶

膀胱内に結石や結晶ができると、粘膜を傷つけ炎症を起こすことがあります。傷に細菌が感染してしまうケースもあります。

膀胱腫瘍

膀胱に腫瘍があるとオシッコが出来にくくなったりすることで細菌が増え、膀胱炎になることがあります。膀胱腫瘍のほとんどは、移行上皮がんです。

肥満や皮膚病がリスクを高める!

太りすぎのメスは、たるんだ内股周辺の皮膚が外陰部に触れやすく、皮膚の常在菌が入ることも。皮膚病があるとさらに高リスクに。

おもな結石と発症しやすい犬種

- シュウ酸カルシウム・ストルバイト結石
ミニチュア・シュナウザー、ヨークシャー・テリア、シーザー、トイ・プードル
- 尿酸塩尿石：ダルメシアン、ヨークシャー・テリア、ミニチュア・シュナウザー
- シスチン尿石：ミニチュア・ダックスフンド、チワワ、フレンチ・ブルドッグ

おもな
症状

少量のオシッコを一日に何回もする
炎症によって膀胱内が刺激され尿意を頻繁に感じるよう

オシッコをしながら
キャンキャン鳴いて痛がる
排尿時に痛みを感じて鳴いて痛がることがあります



血尿または黒っぽい
オシッコが出る
膀胱や尿路が炎症を起こすことでの血液が
オシッコに混入

しつけはできているのに
トイレ以外でオシッコをする
腹痛などでトイレまで我慢できなくなることも

腹部を触られるのを嫌がる
結石があると腹部に痛みを感じ、触られるのを嫌がります

排尿姿勢をしても
オシッコが出ない
結石が尿道に落ちて詰まり、尿が出ない状態。至急受診を

検査

尿検査や画像検査で診断します。

膀胱炎が疑われたら、まず行うのが尿検査。膀胱内に細菌、出血、結晶、腫瘍などの異常があるか調べます。動物病院で採尿する際は、より正確な検査するために、外から膀胱に針を刺す方法(膀胱穿刺)が一般的です。エコー検査やエックス線検査では、さらにくわしく膀胱内の状態を確認。細菌感染が確定したら、最適な抗生物質を選ぶために、細菌培養検査と抗生物質の感受性検査も行います。



治療

抗生物質の投与を中心に
場合によっては外科手術も。

細菌性膀胱炎では、抗生物質を服用します。膀胱内の細菌が抗生物質に耐性をもっているケースもあるため、細菌培養検査と感受性検査を受けて、適切な抗生物質を服用することが大切です。また、膀胱結石があれば、結石の種類に合った治療を併用。結石を溶かす効果のある療法食やサプリメントなどを利用します。溶かすことが難しい結石は、外科手術で取り除くこともあります。

いぬに多い病気、そこが知りたい！は「いぬのきもち」で連載中！

●こちらは、掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損害保険契約者が
マイページから定期購読を申込むと
2号(2ヶ月分)無料!!

